

令和2年（2020）9月3日～9月7日

令和2年度（2020）

第5回出雲市議会(定例会)
一般質問通告一覧表

令和2年度（2020）第5回出雲市議会（定例会）
一般質問通告一覧表 目次

9月3日（木） 10:00 開会			9月4日（金） 10:00 開会			9月7日（月） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	錦 織 稔	3	1	玉 木 満	10	1	湯 淺 啓 史	17
2	福 島 孝 雄	4	2	西 村 亮	11	2	後 藤 由 美	18 ～ 19
3	長 廻 利 行	5	3	岸 道 三	12	3	寺 本 淳 一	20
4	神 門 至	6	4	児 玉 俊 雄	13	4	伊 藤 繁 満	21 ～ 22
5	大 谷 良 治	7	5	大 場 利 信	14	5	原 正 雄	23
6	保 科 孝 充	8	6	板 倉 一 郎	15	6	本 田 一 勇	24
7	川 光 秀 昭	9	7	福 代 秀 洋	16			

質問者	7 錦 織 稔
質問事項・質問内容	
(1) 魅力ある観光地づくりに向けて	
<p>① 島根半島・宍道湖中海ジオパークについて</p> <p>ア 観光に結び付ける戦略。認知度を上げる方策</p> <p>イ 「国立公園満喫プロジェクト」「日が沈む聖地出雲」との関連性</p> <p>② 国立公園満喫プロジェクトについて</p> <p>ア 世界水準のナショナルパークに向けての進捗状況と取り組み</p> <p>イ 訪日外国人利用者数の傾向と事業の成果</p> <p>③ 出雲市観光基本計画について</p> <p>ア 計画の目標がどの程度達成できたのか。目指すべき観光地像が描けたのか。成果と課題</p> <p>イ 新たな出雲市観光基本計画を策定する考えはないか</p>	
(2) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る費用の設計変更時における積算上の対応について	
<p>① 国土交通省は、「工事及び業務における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の徹底について」を4月20日、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る費用の設計変更時における積算上の対応について」を4月22日の事務連絡として発信しています。この2つの事務連絡は、都道府県・指定都市あてになっていますが、本市も同様の適用をされるのか伺います。</p> <p>② 現在行われている市発注の工事の設計変更はどのように対応するのか伺います。</p> <p>③ 工事以外の指定管理や外部委託の業務の契約又は設計変更はどのように進められるのか伺います。</p> <p>④ 新型コロナ感染症拡大防止対策で発生した費用については、「当該費用は、通常の工事には含まれず、特別に計上する費用であることから、公共建築工事共通費積算基準の率による算定は行わない」と事務連絡では示されていますが、この取り扱いについて伺います。</p> <p>⑤ 今後、新たに発注する事業及び更新する事業に、本市として基準となる新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を設計及び契約に追加するべきと思いますが見解を伺います。</p>	

質問者	15 福島孝雄
質問事項・質問内容	
(1) 国の特別定額給付金対象外の新生児への給付について	
<p>① 国の特別定額給付金の給付状況について伺う。</p> <p>② 国の特別定額給付金対象外の新生児について伺う。</p> <p>ア 全国及び、県内の給付状況。</p> <p>イ 出雲市の今年4月28日から来年3月31日までの新生児の人数予測。</p> <p>ウ 出雲市独自の給付の考え。</p>	
(2) 公務中の職員の安全運転意識向上について	
<p>① 出雲市の公用車の安全対策について伺う。</p> <p>ア 公用車の台数。</p> <p>イ 公用車の事故数の動向。</p> <p>ウ 公用車の事故に於ける損害賠償額の動向。</p> <p>エ 職員の安全運転意識向上に向けた取り組み。</p> <p>オ 公用車へのドライブレコーダー設置状況及び、今後の考え。</p> <p>カ 全車両にドライブレコーダーを設置した場合の費用。</p>	

質問者	32 長 廻 利 行
質問事項・質問内容	
(1) 堀川のレジヤ船の不法係留対策について	
<p>① 堀川のレジヤ船の不法係留対策について、平成25年の出雲大社本殿遷座祭を迎える前に対策協議会が立ち上げられ、本格的に対策が開始されたことで、一時は不法係留が減少したと思われるが、現状について伺う。</p> <p>② ある程度の減少はあったと思われるが、未だ不法係留がなくなるのはなぜか。その上で、不法係留をなくすための根本的な対策はあるのか。県管理の河川であり、県との協議はどこまで進んでいるのか伺う。</p>	

質問者	1 2 神 門 至
質問事項・質問内容	
(1) インフルエンザ予防接種への公費助成について	
<p>① 例年、1月頃をピークにインフルエンザ感染症が発症し、多くの幼児・児童はもとより感染による休園や閉鎖学級を余儀なくされています。また、その対応への不安や予防接種への助成など、保護者から多くの声が寄せられています。一方、市においてもインフルエンザ感染症などをはじめとする医療費負担も懸念される所と考えます。未だ、新型コロナウイルス感染症へのワクチン・治療薬が不透明な中、市民の不安を払しょくできない状況にあります。</p> <p>ついては、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ感染症の症状についての判別が分かりにくく混乱を招く恐れがあると考えます。少なくともインフルエンザ感染症が流行する前に、インフルエンザ感染症の予防対策こそ、これまで以上に対応していく必要があると考えます。</p> <p>そこで、次のことについて市の考えを伺います。</p> <p>ア 昨年度の市内におけるインフルエンザ感染症者数は イ その内、15歳までの感染者数は ウ また、その感染による閉鎖施設（閉鎖学級等）数は エ 任意予防接種費用に対する公費助成の考えは</p>	
(2) 市の子育て短期支援事業並びに里親制度について	
<p>① これまで、市が実施されている子育て短期支援事業は、保護者の疾病等の理由により、家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童を児童養護施設等に入居させ、必要な保護を行う事業として必要不可欠な事業であると考えます。</p> <p>この事業は、令和3年4月1日から市が児童養護施設等を介さずに児童を里親等に直接委託し、必要な保護を行うことができるように改正されました。</p> <p>ついては、この改正により、近隣に児童養護施設等が存在しない場合においても、地域の実情に応じた子育て短期支援事業の安定的な実施が可能となると考えます。</p> <p>そこで、次のことについて市の考えを伺います。</p> <p>ア 市の子育て短期支援事業の実施状況について a この事業の利用の対象は b この事業の利用料金は c この事業の実施施設は d この事業の申込方法は e また、昨年度の事業実績は</p> <p>イ 里親制度について a 里親の役割とは b 里親の種類とは c 里親の要件は d 里親の養育負担は e 市内の里親会の状況は f 市民からの里親に関する相談方法は</p> <p>ウ 法改正に向けた子育て短期支援事業の考え方について a 事業スケジュールは b 事業内容は</p>	

質問者	9	大谷良治
質問事項・質問内容		
(1) 後発医薬品普及促進事業について		
① ジェネリック医薬品普及促進への取り組み ア 後発医薬品（ジェネリック）の使用割合 イ 取り組みの効果（削減効果額等） ウ 普及促進について		

質問者	20 保科孝充
質問事項・質問内容	
(1) 斐川行政センター・文化会館の整備方針を伺う	
<p>① まだ梅雨が明けていない7月中旬に斐川行政センターを訪問し2階に上がりますと、廊下にブルーシートが散乱し工事が行われていました。聞きますと、雨漏り工事中でして、よくあることだそうですとの答えでした。</p> <p>併設する文化会館は、斐川のシンボル・象徴との思いが私にはありますが、この整備については、住民の皆さんからどうなっていますか、との問い合わせがよくあり、私たちへの批判も頂いています。</p> <p>両施設の整備については、まだ協議中とは言え、長い間親しんできた施設でもあり、住民の関心は大変高いものがあります。両施設とも老朽化に伴い使用に不便が生じていることは言うまでもありません。</p> <p>皆さんに現在の状況・経過を知らせることも必要と思いますので質問致します。</p> <p>3月19日の議会全員協議会での報告、あるいはその後の検討状況について伺います。</p>	
(2) 防災行政無線とケーブルテレビの運用を伺う	
<p>① 防災行政無線とケーブルテレビは、災害情報・市の伝達事項など市民の生活を支える大切な役割を担っています。第3期デジタル式防災行政無線整備事業実施における個別加入の状況と運用、出雲ケーブルテレビの加入・運用状況について伺います。</p> <p>ア 防災行政無線について</p> <ul style="list-style-type: none"> a 8月末現在の各地域の個別加入状況・割合。 b 整備にあたっての、個別の質問・問い合わせの状況。 c 斐川で数十年実施され、重宝されてきた「お悔み放送」は中止とのことだが、むしろ全体に拡大すべきと思うが考えを伺う。 d 加入しない・できない方への支援はどのように考えているか。高齢者あるいは、生活困窮者に対する支援はどのようになっているか。 <p>イ 出雲ケーブルテレビについて</p> <ul style="list-style-type: none"> a 8月末現在の各地域の加入状況・割合。 b 加入促進に向けた取り組みはどのように考えているか。 <p>ウ 防災行政無線・ケーブルテレビ双方がない場合について</p> <ul style="list-style-type: none"> a 市からの重要なお知らせ・災害等に関する緊急情報等はどこから連絡を受けることになるか。 b 市として、少なくともどちらかへの加入を促す考えはないか。 	

質問者	5	川 光 秀 昭
-----	---	---------

質 問 事 項 ・ 質 問 内 容

(1) プラスチックごみの分別区分が変わろうとしています、次期可燃ごみ処理施設の運営への影響は

- ① 昨年度に発表された、「プラスチック資源循環戦略」に従って、様々な政策が打ち出されています。従来までのリサイクル（再資源化）の他に、リユース（再利用）やリデュース（削減）の重要性が意識され始めました。7月19日の山陰中央新報によると、プラスチックごみを資源ごみとして分別回収するような法整備も検討されているようです。これらのプラスチックごみ処理の対応について、出雲市の現状と今後の方針や課題について伺います。
- ア プラスチックごみの収集と処理方法の現状について伺います。
- イ 出雲市分別収集計画書からみた今後の方針と課題
- ウ 次期可燃ごみ処理施設の運用への影響

(2) 高齢者福祉施設の新型コロナへの対応は充分ですか

- ① 高齢者福祉施設からの新型コロナ感染者の集団発生や高齢者の重症化などが、大きな問題となっている地域があります。幸いなことに出雲市では、感染者はほとんどなく、落ち着いているように見えますが、高齢者福祉施設や病院では面会禁止が継続しており、職員の皆さんは、新型コロナを発症させないために、まさに背水の陣で業務に当たられています。高齢者福祉施設への新型コロナ感染症の対応は充分に行われ、皆さんへ反映しているのか伺います。
- ア 施設では、新型コロナに対応するために新たに備品を準備したり、業務の手順を変更したりして対応していますが、従来よりもお金と時間を必要としています。補助は充分に行われているのでしょうか。
- イ インフルエンザが流行した時には、発症した要介護状態の高齢者は自宅で待機してもらおう施設が多く見受けられました。新型コロナの発症者への対応を教えてください。
- ウ 今後は、新型コロナウイルスと共存するために、インフルエンザ等と同様に、日頃からの感染症への対策が不可欠です。出雲市の今後の方針を教えてください。

質問者	2 玉 木 満
質問事項・質問内容	
(1) 防災訓練の実施状況・避難行動の誘起について	
<p>① 毎年9月1日「防災の日」に行われる出雲市防災訓練を始め、市内における防災訓練の実施状況を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 出雲市防災訓練の概要 イ 出雲市防災訓練に取り入れた新型コロナウイルス感染症対策 ウ 市内の防災訓練実施状況 <p>② 避難行動を「早めに」「ためらわず」誘起する、市民への情報周知について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 指定・臨時避難所の収容人員について イ 避難所を開設する考え方・派遣する職員数 ウ 避難所の解錠から受入までの流れ 	
(2) 出雲全日本大学選抜駅伝競走の開催中止について	
<p>① 苦渋の選択となった出雲全日本大学選抜駅伝競走大会の中止。「出雲駅伝」を未来につなげるため、どのような対応を行ったか伺う。併せて今後の検討の進め方を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 中止決定に至るまで及び決定後の対応 イ 開催に向けた課題等及び検討の進め方 ウ 新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが立たないと開催は困難か 	

質問者	17 西村 亮
質問事項・質問内容	
(1) 公共事業に係わる現状と課題	
<ul style="list-style-type: none"> ① 公共事業の入札参加資格の条件 ② 事業変更に伴う請負金額の変更状況 ③ 入札参加に伴う地域制の配慮 ④ 建設業者の地域貢献度（除雪、除草）の考慮 ⑤ 現場担当職員の傲慢で横柄な態度に対する認識 ⑥ 公正公平又適切な処理を行う為、録音録画の使用を考慮すべきと考えるが如何か ⑦ 入札価格は最低価格ではなく適正価格が必要不可欠と考えるが如何か ⑧ ワンデーレスポンスについていまだに改善されていないが如何か 	

質問者	10 岸 道 三
質問事項・質問内容	
(1) ごみ排出量の現状と課題について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 令和元年度のごみ排出量の実績 ② 事業系ごみの削減に向けた取り組みと今後の展開 ③ 令和2年度のごみ排出量の現状 ④ 感染症拡大における影響と対策 	
(2) 多文化共生の推進について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 「第1期 出雲市多文化共生推進プラン」の評価 ② 実態調査などから見えてきた課題 ③ アクションプラン策定に向けたスケジュール 	

質問者	6 児 玉 俊 雄
質問事項・質問内容	
(1) 中山間地域の農業対策について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 中山間地域の小規模農家は多くの課題を抱えているが、除草対策を中心に今後の対策を伺う。 ② 「新出雲農業チャレンジ事業」は様々な事業を取り込み規模が拡大したが、そのことによって事業目的が曖昧になってきたように感じる。中山間地域における農業対策を別事業として再編すべきと考えるが所見を伺う。 ③ 中山間地域農業の課題は農業部門だけでは解決が困難なものがある。総合的な対策のための組織強化と事業集約が重要と考えるが、所見を伺う。 	
(2) 神話の国縁結び観光協会について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 「神話の国縁結び観光協会」の解散が決まったとのことであるが、その経緯と理由を伺う。 ② 「神話の国縁結び観光協会」のこれまでの実績とその評価について伺う。 ③ 観光振興は後退してはいけないと思う。今後、市及び広域連携組織でどのように役割分担をし、事業効果を上げようとするのか伺う。 	

質問者	18 大場利信
質問事項・質問内容	
(1) 新型コロナ禍の下での総合医療センターの運営について	
<p>① 新型コロナウイルス禍の下、出雲市立総合医療センターの経営状況について、現状と今後の対策について伺います。</p> <p>② これから冬に向かってインフルエンザの発生が見込まれますが、新型コロナウイルス禍の下、どのような診療体制で臨まれる考えか伺います。</p> <p>③ 3月議会で「在宅医療の取組」について報告を受けましたが、その後の取組の状況はどうか。特に、新型コロナウイルス禍の下で取組みに影響が生じているか、「訪問診療」、「訪問リハビリテーション」、それに9月から実施を予定されている「訪問看護」それぞれについて伺います。</p>	
(2) 今回整備される防災行政無線への加入状況などについて	
<p>① 出雲市においては、主として、斐川地域のアナログ式防災行政無線のデジタル化と戸別受信機の整備地域を拡大するため、デジタル式防災行政無線の整備が進められております。防災行政無線は防災インフラとして市内で広く活用されるべきと考えます。このような観点から以下3点について伺います。</p> <p>ア 整備される各地域ごとの加入希望世帯数（率）の現状を伺います。</p> <p>イ 現状についてどのように分析しておられるのか、また今後の加入促進策をどのように考えておられるのか伺います。</p> <p>ウ 地域において定着している放送、例えば「コミセン情報」、「イベント情報」あるいは「お悔み情報」などは放送することとしておられるのか伺います。</p>	

質問者	24 板倉 一郎
質問事項・質問内容	
(1) 新型コロナウイルス感染症に伴う企業支援について	
<p>① 新型コロナウイルス感染症の流行は、日本経済に深刻な打撃を与えています。8月17日に発表された今年4月から6月の国内総生産の伸び率は、年率換算でマイナス27.8%で歴史的な落ち込みになりました。出雲市の経済に与える影響もますます深刻になってきていると感じています。そこで、経済の現状および今後の見通し、ならびに企業支援について、次の点を伺います。</p> <p>ア 出雲市での現在の影響および今後の見通しについて伺う。</p> <p>イ 企業の休業状況および失業者の状況について伺う。</p> <p>ウ 現在の国、県、市の支援策とその活用状況について伺う。</p> <p>エ 今後の追加の支援策について伺う。</p> <p>オ 産業間・企業間の労働移動への支援の状況について伺う。</p>	
(2) 新型コロナウイルス感染症に伴い収入が減少した世帯への支援について	
<p>① 新型コロナウイルス感染症の流行による経済への深刻な打撃は、市民の生活にも企業同様に打撃を与えています。そこで、支援の状況など次の点を伺います。</p> <p>ア 現在の支援策および、その活用状況について伺う。</p> <p>イ 今後の追加の支援策について伺う。特に、子育て世代に対する支援が重要と考えますが、その点についても詳しく伺う。</p> <p>ウ 夏前に一人当たり10万円の特別定額給付金があり、夏のボーナス支給額が減る中の代わりとなり家計を助けてくれました。今後は、冬のボーナスが期待できない状況の中で、住宅ローンなどをボーナスによる返済で計画している多くの働く世代の人にとっては、深刻な影響を与えると考えます。 そうした人たちへの相談窓口の設置や借り換えの支援などが必要になると考えます。金融機関と市が相談し、支援策について検討すべきと考えますが、市の考えを伺う。</p>	

質問者	27 福代秀洋
質問事項・質問内容	
(1) 少子化対策について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 少子化の原因 <ul style="list-style-type: none"> ア 日本における少子化の原因に対する認識を伺います ② 取り組みと成果 <ul style="list-style-type: none"> ア 出雲市において、少子化対策として力を入れてきた取り組み内容と費用、その成果を伺います ③ 晩婚化、非婚化への対応 <ul style="list-style-type: none"> ア 出雲市として晩婚化、非婚化に対する認識と現在までの施策を伺います ④ めざすべき目標と施策 <ul style="list-style-type: none"> ア 少子化対策におけるめざすべき目標と、これを達成させるために必要な施策を伺います 	

質問者	1 1	湯 浅 啓 史
-----	-----	---------

質 問 事 項 ・ 質 問 内 容

(1) 都市計画税は速やかに廃止すべきではないか

- ① 都市計画税については、旧出雲市内の用途地域内の下水道事業と深く関わりを持っている経緯がある。その完了予定が令和3年度であることを勘案すると、令和3年度予算編成に向け、都市計画税の廃止を検討すべきではないかと考える。
令和3年度予算が示される際には、都市計画税の終期について併せて示されるべきであるが、市の検討スケジュールを示されたい。

質問者	4 後藤由美
質問事項・質問内容	
(1) 稗原川など、河川の維持管理について	
<p>① 今年も豪雨による甚大な被害が全国各地で起きました。災害に強いまちにするためにも、住民参加でまちの防災安全対策を検証し、住民の意見を反映した防災計画にしていく必要があります。その1つに河川の維持管理があります。地元でも河川の浚渫、立木伐採などの適切な維持管理を要望していますが、なかなか状況が改善されていません。そこで伺います。</p> <p>ア 稗原川の浚渫・立木伐採事業が昨年開始されました。事業の予算額と、事業の終了予定を伺います。</p> <p>イ 市内の県管理河川は優先順位を付け、堆積土の撤去や樹木の伐採を実施していますが、順番が回ってこず、樹木が覆い茂ったままのところが多くあります。稗原川の場合、事業が途中で中断し、全て終了していない場所もあります。これらを改善するためにも、県へ思い切った予算の増額を要求すべきです。所見を伺います。</p>	
(2) コロナ禍での生活支援制度の周知・徹底と、さらなる支援について	
<p>① 新型コロナウイルスの影響によるあらゆる自粛や外出控えなどで、市民の生活悪化が急速に広がっています。コロナの影響で収入が減少した方々に対する「生活を支えるための支援」として様々な制度がありますが、これら制度の案内が対象者に伝わらず、その活用がわずかなものもあり不十分と言えます。また、市独自の支援もさらに必要と考えます。そこで、伺います。</p> <p>ア 例えば一例として国民健康保険料の減免制度がありますが、国保料減免申請は国保加入世帯のうち、現在何件申請しているのか伺います。</p> <p>イ 国保料減免制度は「国保料決定通知書」や「国民健康保険・高齢者医療だより」だけでは、制度の周知が行き届いていないと思われます。「出雲の飲食店応援プレミアム付食事券」の申請書類を市内全世帯に郵送したように、国保料、後期高齢者医療保険料、介護保険料などそれらの対象者には、郵送などで申請書を全員に届けることを求めます。所見を伺います。</p> <p>ウ 収入が激減した市民への支援策は後期高齢者医療保険、介護保険、国民年金などの減免の他にも、生活福祉資金の特例貸付や住居確保給付金などがあります。市民が相談や申請に来られた際には、ワンストップサービスのような連携体制の強化をはかり、あらゆる制度を紹介すべきと考えますが、所見を伺います。</p> <p>エ 現在の国保料減免制度は、同じ国保世帯でも前年と今年の所得の種類が違う場合比較対象にならないという理由で制度に当てはまらず、収入減で苦しむ市民が救済されないことがわかりました。市として、この制度の隙間を埋めるために減免措置の改善を求めます。所見を伺います。</p>	

(3) 子どもの医療費助成制度のさらなる拡充について

- ① 市は子どもの医療費助成制度の新しい案を、6月議会で報告されました。県が来年4月から助成対象年齢を現行の就学前から小学6年生まで引き上げることによるものです。子どもの医療費助成制度の拡充は、子育て支援策の中でも最も切実な願いです。そこで伺います。
- ア 今回の提案の中で、一步前進する点として、住民税課税世帯の小学生の通院3割負担が1割負担に軽減されるなどがあります。これらはとても重要です。しかしその一方で、後退する面もあります。住民税非課税世帯の小学生・中学生は通院・入院ともに昨年10月から無料になり喜ばれていたのにもかかわらず、これを1割負担にするという提案です。生活に支援が最も必要な世帯に負担をかぶせる案です。なぜ、このような計画になったのか、その理由を伺います。
- イ 子どもの医療費助成制度は、中学校卒業まで通院・入院ともすべて無料にすることが必要です。来年からの新制度においても、住民税非課税世帯は無料にすべきと考え、住民税非課税世帯への負担増という計画は白紙を求めます。所見を伺います。

質問者	13 寺本 淳一
質問事項・質問内容	
(1) 公共事業における熱中症対策について	
<p>① 年々夏場の気温や湿度が上昇し、熱中症で救急搬送される人も多く、亡くなられる方も増加しています。舗装工事、水路の据付、上下水道工事や河川・道路などの草刈り作業をされている作業員はあまり日陰のなさそうな場所で汗だくで作業をされている状況です。そこで市が発注している公共事業について、どのような熱中症対策を指導、補助されているのか伺います。</p> <p>ア 今年度出雲市の7月後半～9月前半までの外部工事（作業）発注予定件数は。</p> <p>イ 昨年度、熱中症で病院に運ばれた人数。また、その内の建設業関係作業者の人数及び近年の傾向。</p> <p>ウ 工事金額の中で、安全対策費の内訳とその内の熱中症対策に関わる割合。</p> <p>エ 出雲市の公共事業を請け負うにあたって、業者に対しての具体的な熱中症対策ガイドラインはあるのか。</p> <p>オ 気温30℃を超える期間の工事発注は作業員の安全確保のためにも金額や規模、工程日数の大小に関わらず熱中症対策予算をしっかりと盛り込むべきと思うが、市の考えは。</p>	

質問者	19 伊藤繁満
質問事項・質問内容	
(1) 農地法第3条に係る許可・届出要件等の課題について伺います。	
<p>① 農地法が制定されて以来、農地は農業の貴重な資源であり食料の安定供給の確保に欠くことのできない重要な役割を保持しています。平成21年農地法の一部改正が行われ、家族経営中心の考えから農地をより効果的・効率的な利用を進める方向となり、農業経営基盤強化促進法の改正等も行われました。農業経営環境全般において現在、農業従事者の高齢化、担い手不足、若者の流出現象等、農業従事者は年々減少傾向にあります。一方において有害鳥獣の被害が年々増加し農家の生産意欲の衰退、この為、遊休農地、不作付け農地、荒廃農地が多くなり人口減少が加速され周辺地域から空き家が点在するようになりました。この傾向は点から線へと加速し、やがて面的な広がりとなって集落維持が不可能となってまいります。又、斐川町は担い手の農地集積率が8割を超え全国レベルの先取的な取り組みが展開されています。しかし中山間地に入ると集積はあまり進んでいない状況にあります。このように出雲市全体の地域状況を改善していくことが改正農地法の趣旨であり、持続可能な農業資源の在り方が問われています。</p> <p>ア 農地法第3条第2項第5号に規定している別段面積（下限面積）は毎年修正等の必要性を検討されていると考えますが、農地法第3条に規定している50a制定以後、別段面積について検討・修正された経過を伺います。</p> <p>イ 近隣市では安来市が全域30a、松江市が20aと30a、大田市が20a、30a、40a、雲南市が大東、掛合町は30a、加茂、木次、三刀屋、吉田は20aとなっています。出雲市は斐川町、平田町、古志町、高松町等は50a、今市町、河下町、大社町杵築東などは20a、以外の地域においても細かく地域が定めてあり30a、40aが規定されています。農業を取り巻く状況は厳しい局面にあります。中山間地の現状、農地集積が進んでいる地域とそうでない地域の状況を考慮し本気で農地を守るために何をすべきか伺います。</p> <p>ウ 農地法施行規則第17条第2項に係る1aの別段面積の取り扱いはこれまで何件の申請があり受理された件数はいくらか、又、事務処理を簡素化すべきではないか伺います。</p> <p>エ 前項に係る事案に対し大田市では空き家（空家に付随した遊休農地）つき農地の売買が可能で定住促進が行われていますが、参考にして農地を活かす考えはないか伺います。</p>	
(2) 新型コロナウイルス禍の地方選挙について伺います。	
<p>① 新型コロナウイルスの感染拡大が一向に収まる気配もありませんが、仮に終息状況が見えたとしても以前の生活様式に戻ることはなかなか難しいではないかと考えます。</p> <p>さて、近年、有権者の政治に対する意識は多様化し、行政に対しても関心度が低下し、市民との距離が感じられる様相を呈しています。議会制民主主義の根幹にかかわる選挙について有権者に寄り添った対応が重要であります。間もなく各種選挙が当地方においても動き出す様相であります。従来から行われてきた投票方法、投票所の態様、場所等、又、候補者が行っはならないことなど新生活様式をふまえていかなる方法が求められているのか伺います。</p>	

- ア 近年の選挙における投票率は、知事選、県議選であります。投票率は平成27年4月62.94%、平成31年4月63.06%（知事選）で投票率低下に歯止めがかかった傾向にあります。有権者の動向をどのようにとらえているか伺います。
- 令和元年7月の参議院選の投票率は52.62%（出雲市）、平成28年7月参議院選の投票率は61.53%、この傾向をどのようにとらえているか併せて伺います。
- イ 現在の投票所は78か所と以前と比較すると減少し、有権者が占める割合が旧市町別に比較しても甚だ著しく不均衡となっております。内訳は投票所が出雲32か所、平田16か所、佐田8か所、多伎4か所、湖陵3か所、大社7か所、斐川8か所でそれぞれの有権者数も大きなばらつきがありますが、投票所を多くして有権者の利便を図ることが投票率の向上に寄与するものであります。不均衡是正の考えについて伺います。
- ウ 新型コロナ禍の下で3密回避の観点から狭い投票所が変更となることも考えられますが投票所の変更はあるのか伺います。併せて投票所の従事者数も増員となるのか伺います。
- エ 新型コロナ禍の下では投票所における投票者記載は記名投票から○印等に変更し、人の流れを速やかにすることも考えられますが、投票方法を含めて簡素で正確かつ迅速にする考えについて伺います。

質問者	16 原 正 雄
質問事項・質問内容	
(1) 出雲の空にトキが舞う日を目指して	
<ul style="list-style-type: none"> ① トキ分散飼育の実施状況について <ul style="list-style-type: none"> ア 出雲市の分散飼育の実施状況について イ 一般公開の初年度の状況と所感（感想）、2年目の現状について ウ 出雲市外の佐渡市、長岡市、多摩動物園、石川動物園の取り組み状況について ② トキによるまちづくり事業の取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> ア 出雲市・トキによるまちづくり推進協議会の役割について イ 斐伊川水系生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会の役割について ③ 出雲市トキ保護増殖事業計画の再登録及び出雲市の取り組みと今後の方針について <ul style="list-style-type: none"> ア 国及び島根県の支援強化 イ 各種支援体制強化に向け組織づくりと予算確保 ウ 寄附金、支援金の確保・強化 	

質問者	8 本田 一 勇
質問事項・質問内容	
(1) 旧田儀小学校の活用計画の進捗状況を伺います	
<ul style="list-style-type: none"> ① 現在の状況はどうなっていますか ② 今後の計画を伺います 	
(2) その後の業務改善提案制度について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 業務改善提案制度を作った原因は何があったのですか ② 若い世代からの提案を吸い上げる制度があると聞きましたが、今年は、どんなテーマでどんな内容でしたか、伺います ③ 今年の業務改善提案は、何件ですか 	